

# 東遊園地からはじまる、人が集まりやって来る街“神戸”へ

・・・ともに考え、ともに取り組む、公園再整備

[ 実施方針 ]



## 〔業務に対する姿勢〕

- ・公園再整備は、公園周辺地域のみならず、三宮駅界隈、港湾地域まで影響や効果が及ぶ、都市再生の起点ともなり得る重要事業の一つと言えます。
- ・東遊園地は、居留地内施設として設置、返還され、その後、周辺は都市化が進展し関係の希薄化が目立つ状況にありました。
- ・このことから、市民の皆さんから、公園から街を変えよう良くしようとの声があがるのは、必然ですし、実に健全で素晴らしい動きであると考えられます。
- ・この期を逃すことなく、街を変える公園づくりを目指して、市民の皆さんを中に、関係者が一丸となり、ともに考え、ともに取り組む場としていきたいと考えます。

## 業務に対する考え方 (私達が大切にしたい事)      業務の組み立て・体制・進め方 (業務内容の実現性)

私達は、市民をはじめとした関係者の皆さんと、「これまでの神戸」、「今現在の神戸」についての認識を一にするとともに、「これからの神戸をどのようにしていくか」の展望を共有し、その起点とすべく公園再整備に取り組んでいきたいと考えています。

### ①これまでの神戸は

- ・都市と郊外、自然と街の融合。
- ・山から海への連続性豊かな都市美。
- ・傍らに芸術文化の香り漂うハイセンスな暮らし。
- ・震災がもたらした人間愛。

などなど、忘れないように受け継いでいきたい沢山のものがあります。

### ②今現在の神戸は

- ・神戸のアイデンティティ創生へ。
  - ・行政主導から市民主導へ。
  - ・都心の活力、回遊性の向上へ。
- などの見直し、変化、転換、の岐路にあります。

### ③これからの神戸は

- ・守り育てるべきものを継承する。
- ・失われつつあるものを再生する。
- ・新たに必要なものを創出する。

神戸らしく、しかも新しい活力をあわせ持つ神戸について、ともに考え、知恵を出しあって、築いていく必要があります。

### ①業務の組み立て・進め方

市民活動団体や参画事業者との調整のタイミングを軸に、業務を進めます。2回の意見交換会を有効にプラン決定に繋げるべく、各ステークホルダーや整備委員会・参画企業の事前ヒアリングを踏まえた各回案提示・調整を行います。

基本設計案は、公開により一般市民意見の反映と情報発信を行い、基本設計をとりまとめます。業務進行に当たり、設計条件等の状況変化に対しては、関係者との協議をもとに柔軟な対応を図り質の高い設計成果策定を行います。

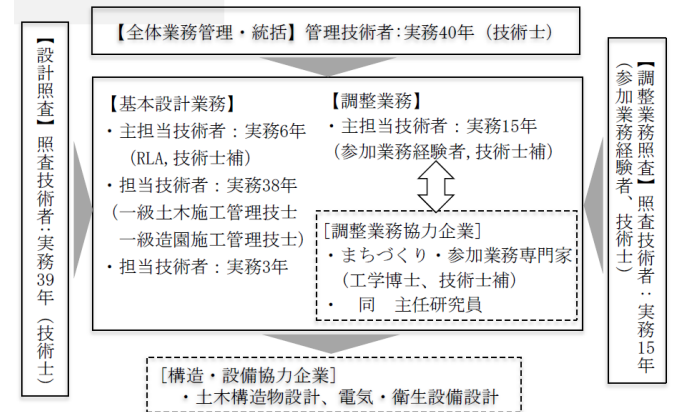
### ②業務取り組みの体制

業務の実施に当っては、都心部公園再整備基本設計及び市民参加業務に精通した管理技術者が、全体業務管理と統括を担います。基本設計業務及び調整業務毎に担当技術者を配置し、切れ目のない業務遂行を図ります。

対話によるまちづくりに精通した専門家との協力体制を組み、市民、行政、参画企業等関係者間のスピーディな意思疎通により、質の高い基本設計を実現します。

土木構造物や設備関係の課題に対応するため、協力企業と連携により、確実かつ迅速な業務遂行を図ります。

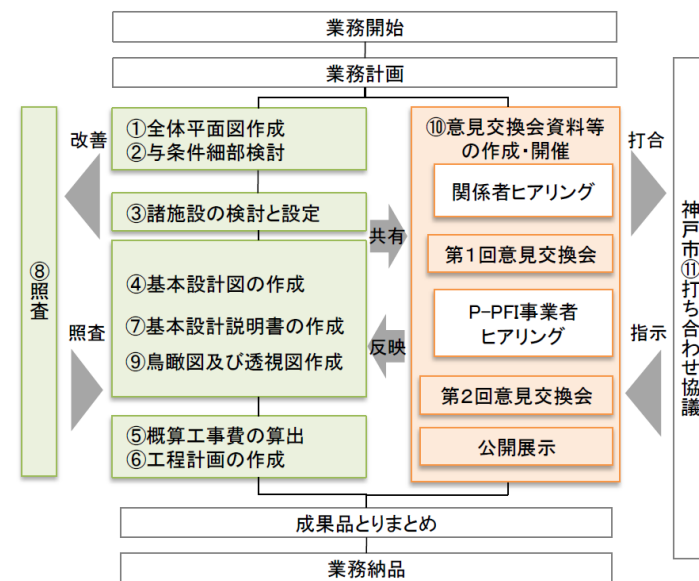
### 〈 業務体制 〉



### 〈 業務スケジュール 〉

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
P-PFI公募(想定)	公募募集	応募期間	選定・決定			
①全体平面図の作成		作成				
②与条件の細部検討		検討・整理				
③諸施設の検討と設定			検討と設定			
④基本設計図の作成		一次案提示	二次案提示	修正	修正	
⑤概算工事費の算出(撤去費含む)			作成	修正	修正	
⑥工程計画の作成				作成	修正	
⑦基本設計説明書の作成				作成	修正	
⑧照査		着手時照査	中間照査			成果品照査
⑨鳥瞰図及び透視図の作成			作成	修正	修正	
⑩意見交換会資料等の作成		社会実働関係者ヒアリング	意見交換会-1	P-PFI事業者ヒアリング	意見交換会-2	報告
⑪打ち合わせ協議		初回	2回	3回	4回	5回
公開発信・まとめ				6回	7回	8回
				9回	10回	11回
						最終納品
						成果品とりまとめ

### 〈 業務フロー 〉



# 庁舎・フラワーロードとともに、「緑・水・花」と「芸術・文化」が人々を誘う“東遊園地森の丘公園”

[ 技術提案書-1 ]

現在の東遊園地は、居留地の一部であったころから、制度・管理上の位置づけを除けば、公園的な場所であるという意味では変わっていないと言えます。また、内外人公園地であったころから、六甲から流れる生田川の堤に位置していることによる、山から海への連続性の中にある微高地上の樹林地であるという特性にも、変化が見られないと考えられます。

一方、周辺状況は、居留地は返還され、生田川付替えによる幹線道路をはじめとした西側地区の都市化、港湾地区や湾岸道路の整備等、大きく様変わりしました。

公園が閉鎖的、利用者が少ない、神戸らしさが希薄、周辺都市部と繋がりが乏しいなどの諸課題の多くは、公園と周辺地域の不整合や分断に起因すると考えられます。

今、東遊園地において、立地にもとづきながら、景観や利用面における整合性や連続性を、空間の改善と活動システムの改善により高めていくことができれば、公園を起点として周辺都市域へと美と賑わいを波及させることが可能となると考えます。



## 1. 公園と周辺の立地条件等の課題と対応方法（提案の独創性）

### ①公園と周辺の特性と変遷

特性：山から海への際立つ変化、森、川辺の微高地、

変遷：居留地東端の内外遊園地として成立：明治8年、生田川付替えによる道路・東側新市街地形成、居留地返還と公園設置：明治32年三宮・元町等沿線都心部形成、海辺の港湾都市としての発展、都市間流通の動脈阪神高速道路整備：昭和41年



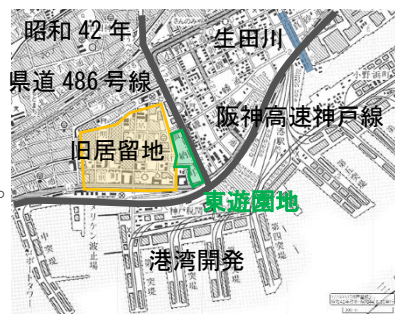
### ②問題点と課題

問題：公園と周辺の関係希薄化、課題：基本特性をベースに、貴重な自然環境、オープンスペース、を活かした新たな役割を担う必要が有ります。



### ③目標

人が集まりやってくる、暮らしたい過ごしたい街の起点とすることで、都市との繋がりと回遊性を生み出します。



### ④対応策

「空間的魅力の明確化」

⇒都心の微高地にある立地を活かした風景を創ります。

「山と港の街神戸らしさを表現」

⇒新庁舎と一体に三宮駅周辺からウォーターフロントへの連続的魅力を生み出します。

「地域の魅力の波及」

⇒旧居留地や葺合南54号線境界の魅力を取り込みます。

「都心域の回遊性向上」

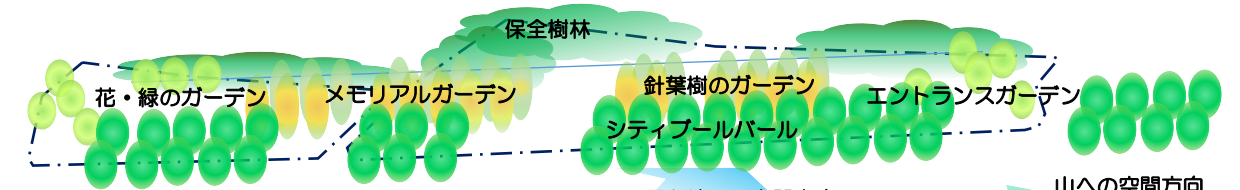
⇒六甲・港の美、都心の港らしさ、地域の活力により実現します。

## 2-1. 設計方針と配置計画：周辺施設との関連性や敷地の特性を踏まえた再整備の考え方（提案の独創性）

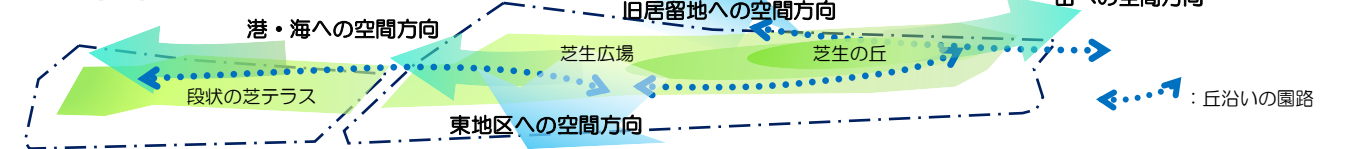
東遊園地の景観と利用の向上を図るため、基本的な立地特性である、山・海や周辺都市を感じ易く周辺市街地から見え易い微高地、都心の森、貴重な都心のオープンスペースなどを活かすことのできる「森・丘・広場」の空間構成による再整備の考え方を提案します。

- ①基本構成：森・ガーデン、丘・空間、水・アート・広場の三層を設定します。
- ②導入活動：日常活動を、場所（公園整備）とマネージメントにより高めます。柔軟で幅広く対応できる、催しの舞台を提供します。
- ③景観方針：山、港への神戸らしい絵になる風景、公園、街へのにぎわいの風景、森、水辺、丘にアートが映える風景を生み出します。

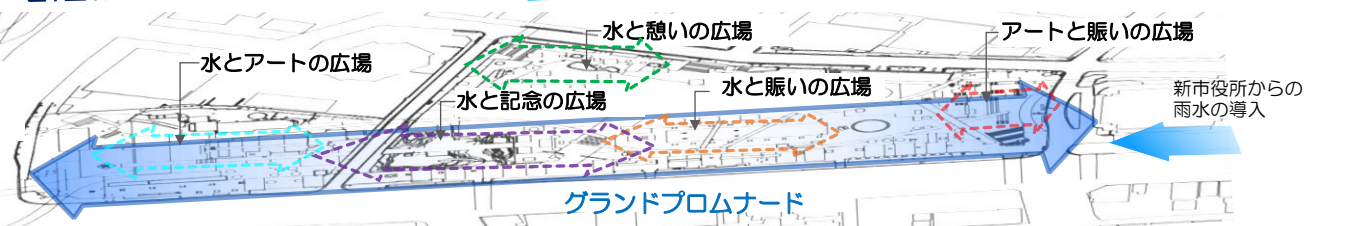
### 『森・ガーデン』



### 『丘・空間』



### 『水・アート・広場』

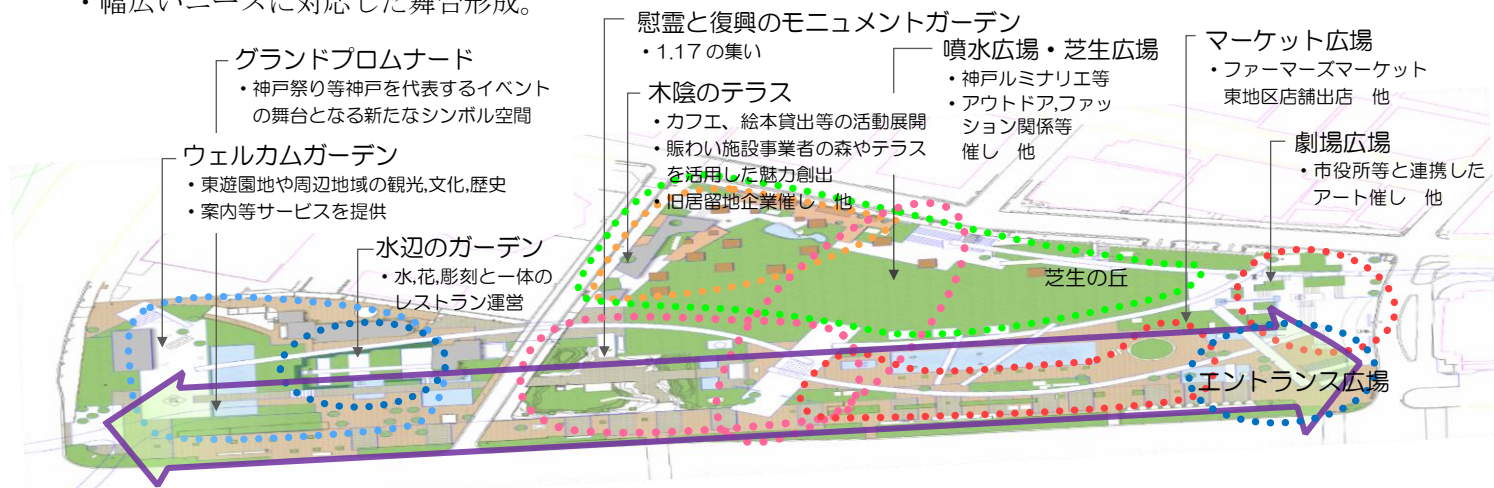


## 2-2. 設計方針と配置計画：公園の質を高めるための考え方・景観デザイン（提案の獨創性、実現性、周辺への波及効果）

公園が、多くの人たちに暮らしたい過ごしたい街の起点となるには、いくつかの役割を果たす必要があると考えております。その役割は、社会性と文化性、安心と誇り、身体と精神、自然環境に係わる暮らしの質を高めることです。私たちは、公園はこれら役割を果たすための器であると捉え、以下のような四つの柱を設定し、公園の質と景観を高めるための設計方針・配置計画としました。

### ①社会性・文化性を継承・波及させる参加活動の舞台づくり

- ・都市と郊外、公園と街の交流による活動と波及の舞台形成。
- ・神戸のシンボリック催しの舞台充実。
- ・幅広いニーズに対応した舞台形成。



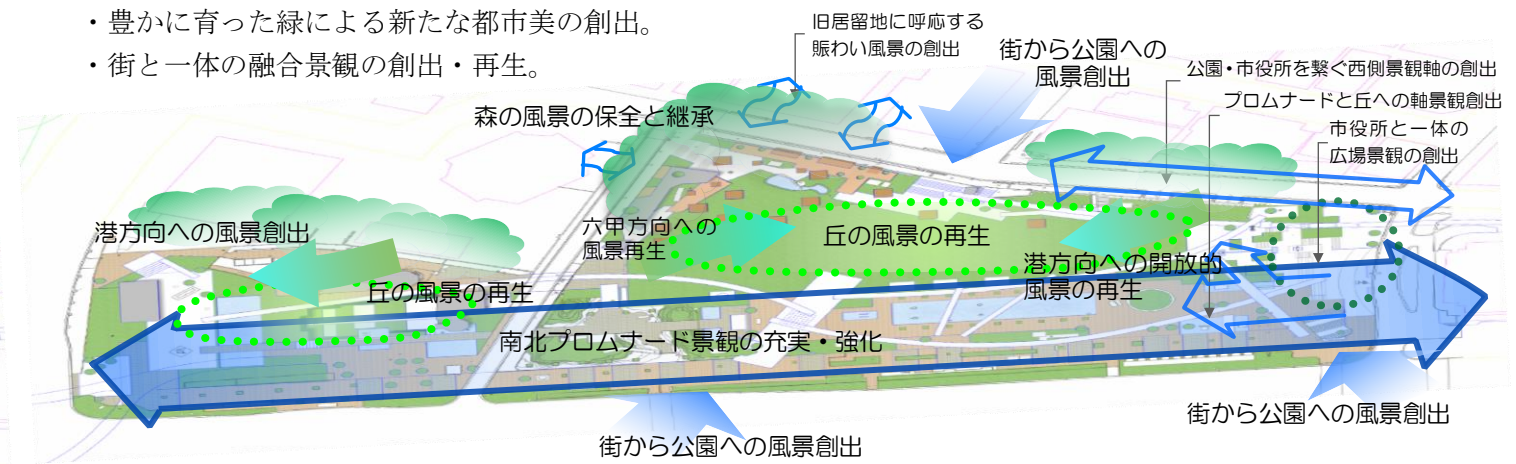
### ②安心・安全と誇り・愛着を育む開放感溢れる空間づくり

- ・いつも誰もが、気軽に訪れる、開放的空間形成。
- ・居心地良く快適な空間形成。



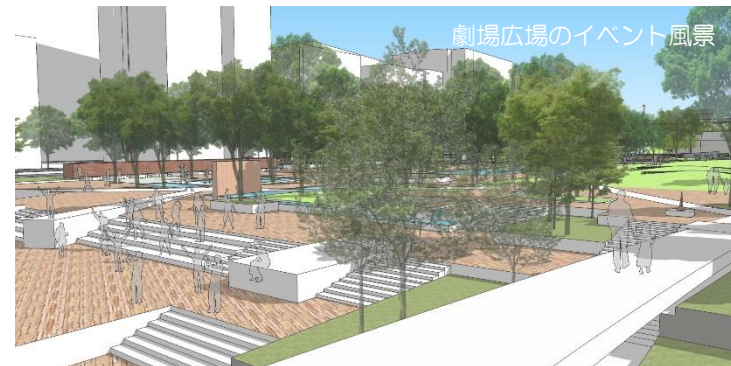
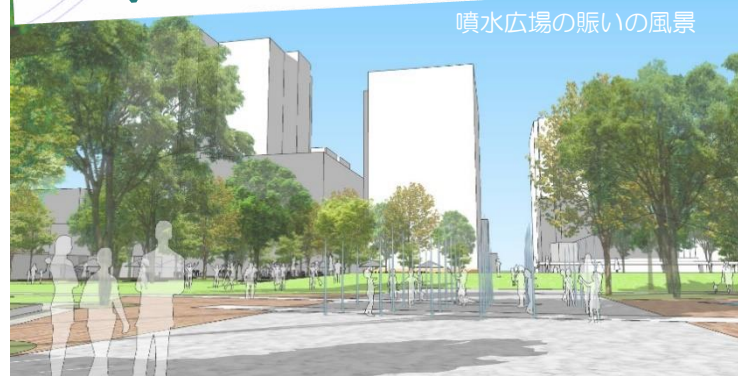
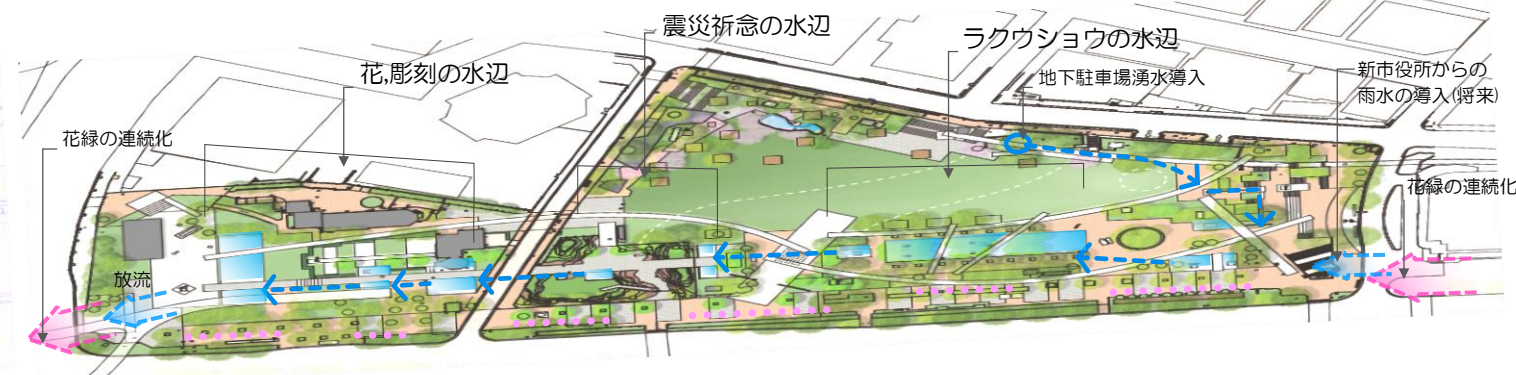
### ③身体と精神を開放する美しく伸びやかな風景づくり

- ・山から海への連続性豊かな都市美の継承・再生。
- ・豊かに育った緑による新たな都市美の創出。
- ・街と一体の融合景観の創出・再生。



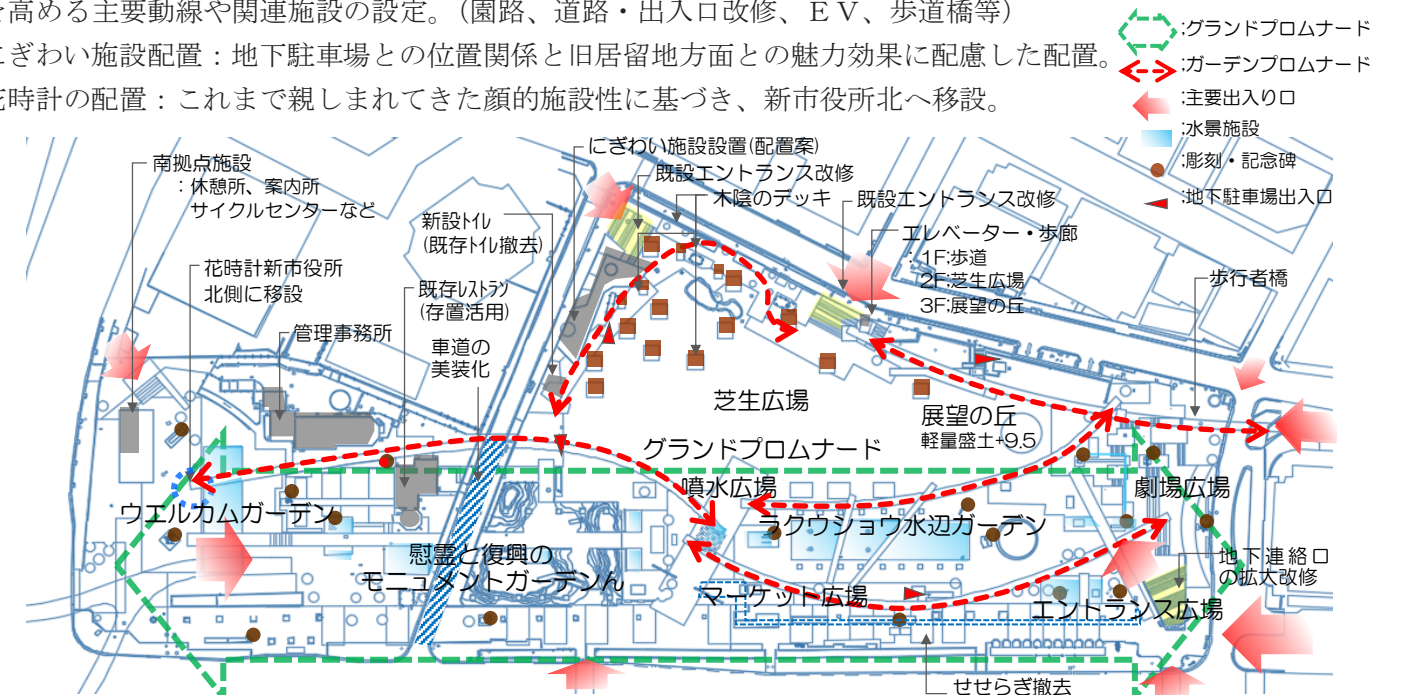
### ④四季の緑・花が映える水辺の環境づくり

- ・公園への雨水や湧水の導入により、自然とともにある暮らしの場づくり。
- ・既存樹林との調和や育成の基盤となる水辺とし自然環境育成。
- ・都心における次世代型の快適で魅力的な環境を創出。



## 2-3. 設計方針と配置計画：にぎわい施設・花時計ほか主要施設の配置

- ・動線計画：周辺や地下街からの導入効果、バリアフリー対応に配慮した南北・東西の流動性を高める主要動線や関連施設の設定。（園路、道路・出入口改修、EV、歩道橋等）
- ・にぎわい施設配置：地下駐車場との位置関係と旧居留地方面との魅力効果に配慮した配置。
- ・花時計の配置：これまで親しまれてきた顔的施設性に基づき、新市役所北へ移設。



### 3. 関係者の意見や要望の反映：意見や要望の調整方法・情報発信方法（提案の独創性、実現性）

①調整にあたりまして次のような事項を念頭に臨みたいと考えています

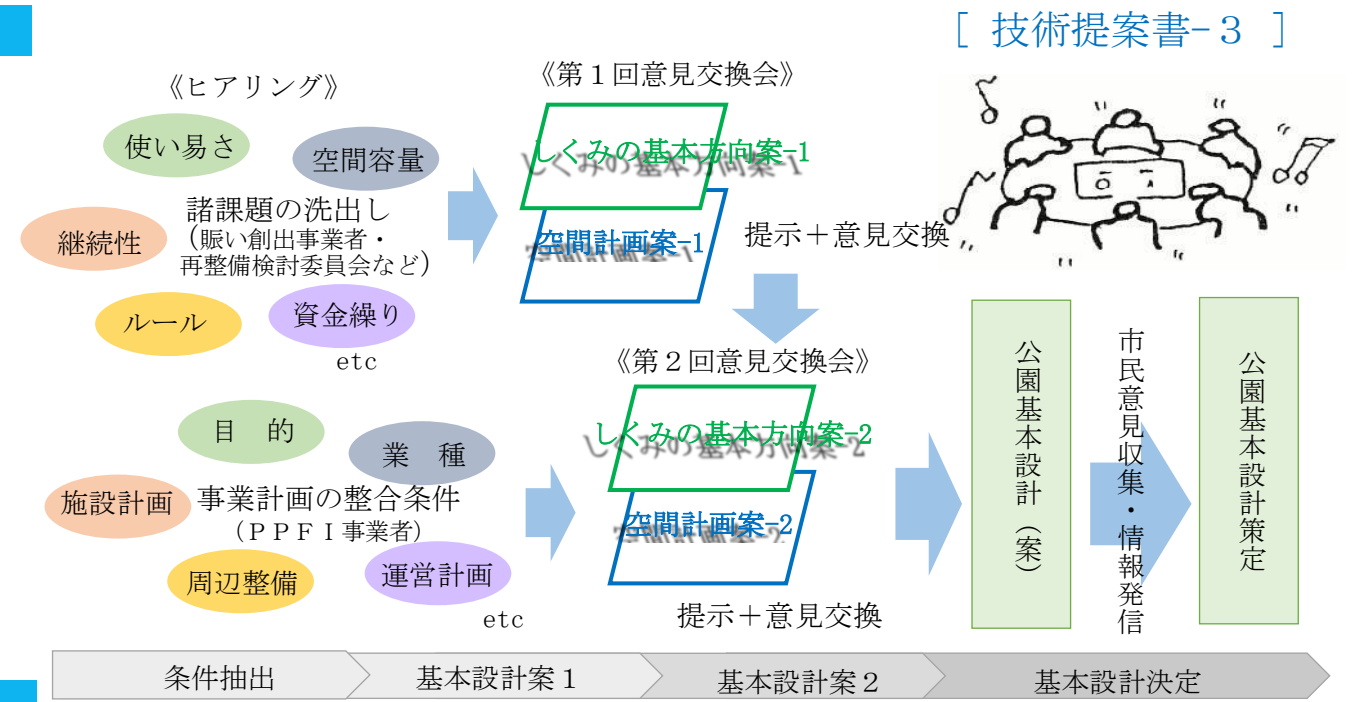
- ・社会資本としての公園本来の役割や、東遊園地の特性に基づく取り組みこそが街の質を高めるという価値観を共有出来る事。
- ・東遊園地の立地や歴史がもたらす見えない資源や特性を知り、市民の共有財産として保全し高める事。
- ・参加者それぞれが、公園での事業や活動を通じて、喜びを実感できるよう楽しみ、公園をわが街の舞台として定着させる事。

②円滑・的確にプラン検討を進めるため社会実験の評価検証と関係者への事前ヒアリングを実施します

- ・社会実験の実施状況や結果について詳細に把握・評価するとともに、各事業者の想いや大切にしたい事を理解し共有する。
- ・にぎわい創出事業者をはじめとする関係ステークホルダー、Park PFI 事業者から、公園再整備に関する意見・要望をヒアリングし再整備プランに反映するため、基本計画等との整合を踏まえながら検討を行います。

③共創型意見交換会と計画案のロビー展示による円滑な情報交換とオープンな情報発信を行いたいと考えています

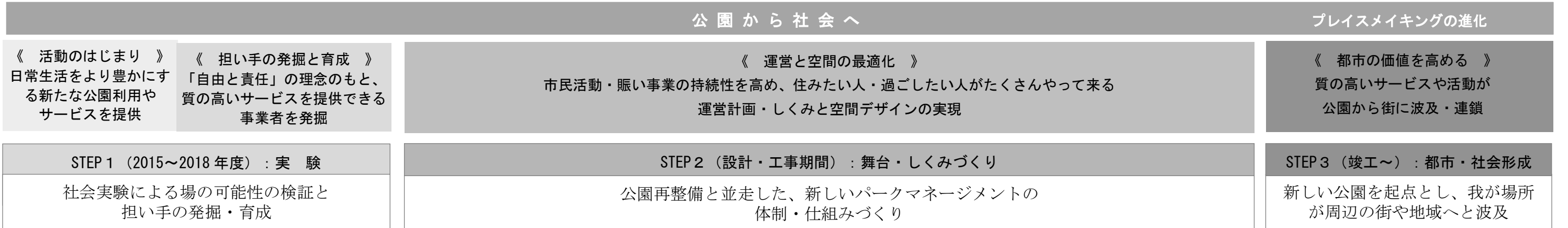
- ・手と頭を使う創造的場とするため、ヒアリング等の事前情報をもとに課題抽出と対応方向を整理し、調整・作業ツールを作成・準備します。各事業者、再整備委員会メンバー、市担当など各関係者が活発に意見交換できる会議運営を行います。
- ・公園プランなどの成果は、市役所ロビーに公開展示し、広く市民から意見を募り、対応についてHP等で発信します。



### 4. 周辺への波及効果：プレイスメイキングの考え方（提案の独創性、実現性）

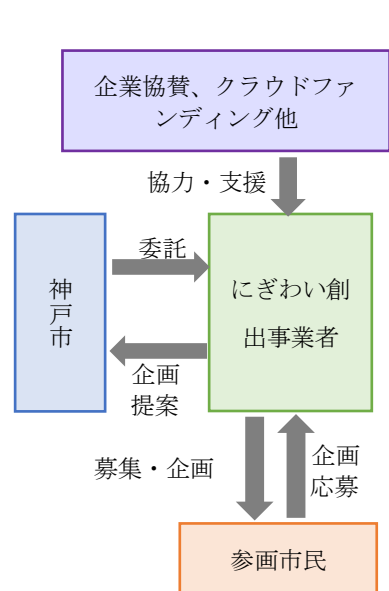
本業務を公園から街へのプレイスメイキング発展の契機と捉えています

設計を通じた関係者との調整の場は、活動や運営と空間の整合性と運営効果に係わる貴重な機会となります。また、一般市民や委員の先生方はじめ、関係ステークホルダーの関心が高まる事が予想されます。プレイスメイキングの成否を左右するとも言える調整の場を活かし、マネージメントから公園の空間・施設を捉えるのではなく、ハードとソフトを両輪と捉え整備後のしぐみを展望しながらより効果的な設計を目指す場としたいと考えています。



市民発意によるパークパネジメント社会実験実行委員会による試行を経て、広場の芝生化社会実験と合わせた東遊園地の新たなあり方を実践する賑わい創出事業「アーバンピクニック」を実施されました。

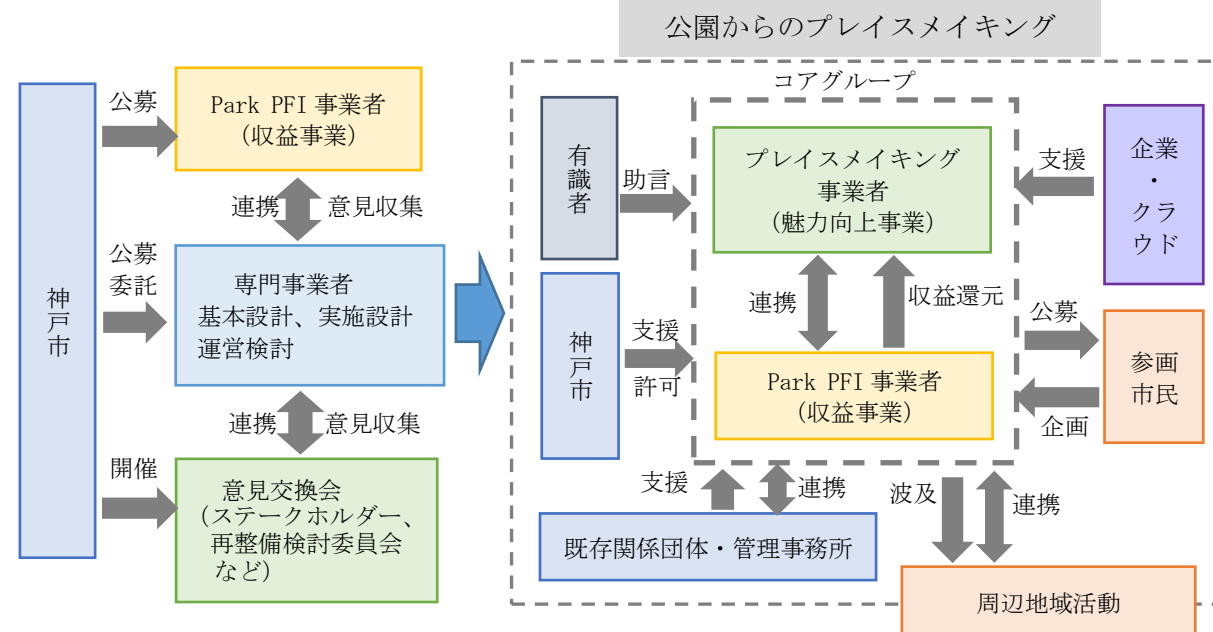
公募による市民参画も進め、公園をみんなで育てる取組みを通して、神戸市民のアウトドアリビングとなる可能性が見えてきました。



〈これまでの取り組み〉

本業務では、ParkPFI 事業者及びステークホルダー、再整備検討委員会メンバーなどと意見交換、調整を行いながら、公園再整備基本設計を進めます。

2020年度以降は、本業務における協議・調整のテーブルを継続・発展させ、実施設計や整備工事に応じた議論・事業を行うことで、公園からのプレイスメイキングを推進する新たなマネージメントの仕組みづくりへと繋げていく必要があると考えています。



〈目標とするパークマネージメントのイメージ〉

新たなしぐみが機能し、プレイスメイキングの核となる事業者が中心となり、公園を舞台として市民が主役となる質の高いサービスを提供し、まちの魅力づくりへと繋がる事業を展開します。

将来的には、プレイスメイキング事業の継続と向上を図るため、関係ステークホルダーによるパークマネージメント協議会を設け、定期的な評価や改善を図るなどの機能が付加される必要があります。

そこに、振り返った後に、確かな未来が描けることを信じて疑うことのない、神戸っ子コミュニティを築き上げる事ができると考えています。